

杉田農園

ECサイトの導入により、対面販売に要していた労働時間を削減、
Webでの情報発信により、集客率アップ

余剰時間が生まれ、新品種の栽培方法の研究、商品開発など、
さらなる発展につながる取組が可能に

1 従来の課題

Task

都市農業では、従事者の高齢化や後継者不足を始めとして労働環境の改善など解決しなければならない点が多くあります。また、都市農業は多品種少量栽培の



ため年間を通じてフル操業、そのため休みは取れず働き方改革が最も求められている分野であると感じていました。

都市農業を持続したビジネスとして継続・発展していくためには、「農業＝生産」だけに留まらず、生産から消費者へ届ける一連の流れをひと続きで行うことが欠かせないと考え、10年程前から観光農園やECサイトの開設を考えていました。



様々な品種のキウイを栽培

その中で生産した作物をお客様にダイレクトに届けられる直売所での販売に取り組み、また当園の長年の顧客であった料理人と意気投



カスタードフルーツ(ポポー)

合、「農業と飲食業を切り離すのではなく、同じ舞台でやっていきたい」という思いから農家レストランの開業に着手しました。その着手に伴ってWebサイトや予約システムを立ち上げる必要があり、加えて当園で育てている、全国的にも珍しい果物「カスタードフルーツ(ポポー)」に関する引き合いが日本各地から入るなど、これを機会にECサイトも併設しようと考えました。

2 取組概要

Approach

本事業では、ECサイト(ホームページを含む)を導入し、非対面式の販売チャネルを増やすことを目的とし、「ネットショップページ」、「野菜直売所案内」、「イベント案内、もぎとり案内、営業案内」、「イベント、贈答用品の予約ページ」などのページ構成を検討しました。本ECサイトの導入により、対面販売からEC販売への転換を目指すとともに、イベントや販売物、直売所の営業予定などの告知や予約業務の効率化を図りました。



杉田農園
(ECサイト・農家レストラン la pousse サイト)
<https://sugita-nouen.biz>



COMPANY PROFILE

- 業 種 農業
- 事業内容 野菜・果物等の生産、生産物直売所・農家レストランの運営
- 創 業 江戸時代後期(創業7代目)
- 代 表 者 園主 杉田 広行
- 所 在 地 川崎市宮前区菅生6-36-43
- 従業員数 7名

<https://sugita-nouen.biz>



3 実施効果

Effect

本事業により、労働時間の短縮や効率的な作業が可能となり、農園の経営が円滑に回るようになりました。削減できた時間を活用し、ECサイト向け商品の開発、新品種のフルーツや野菜の栽培研究などへ取り組むことができるようになったため、今後は新たな顧客層を獲得し、農園のさらなる発展につなげていきたいと考えています。また、今まではLINEなどのSNSで情報を発信していましたが、Webサイトを構築したことで、情報を発信しやすくなり集客にもつながりました。

EC導入による効果

対面販売時間の削減時間数

36時間/月

対面販売時間以外の労働時間の削減時間数

104時間/月

※対面販売時間以外の労働時間
……出荷準備時間、各種電話対応など

成功の決め手・秘訣

Webサイト、ECサイトの制作過程で、制作会社の多くの社員の方の意見やアイデアをすりあわせ、時間をかけて内容のブラッシュアップをできたこと。

社員の声

レストランのオープンで一気に増えた問い合わせの管理や顧客管理がしやすくなり助かっています。

今後の展開

これまでもSNSに掲載しためずらしい野菜の写真を見て農園に来てくれた方が、レストランで食事をして野菜の美味しさを知ってくれることにより、直売所の常連になるというよい流れができていました。Webサイトを、その流れをカバーするプラットフォームとして直売所にお客様を呼ぶPRのツールとするなど、さらに活用していきたいと思っています。

ECサイトの販売商品としては、人気が高い果物や果物を使ったゼリーやジャムなどの加工品、蜂蜜を中心に取り扱いしていきたいと考えています。また、直売所で販売しているお中元やお歳暮セットなどの申込をECサイトで行うことや、体験農業のチケット販売、レストランの食事代との一括販売など多方面での活用を検討しています。

現在、レストランでは旬の野菜を使っており、メニューがなく、予約は電話でシェフがお客様の嗜好やアレルギーなどを確認しつつ行っている状況のため、今後はテイクアウトやメニューの充実も図りつつ、Web上で一貫できるような仕組みを目指していこうと考えています。

これからの方向性としては、高齢者や遠方に住むお客様にも当農園の商品を届けられるような取組を行っていくとともに、新商品や加工品の開発を充実させ、6次産業化をさらに推進していきたいと考えています。

ひらめきポイント・経営者の気づき

今回導入したシステムをさらに使いこなし、効果を高めることはもとより、ECを利用した農園経営のモデルケースとして、農家を守り抜くという思いから、同じ志を持った仲間へのノウハウの共有なども積極的に行っていきたいと考えております。将来的には市内農業者の有志で川崎市の農作物を紹介するポータルサイトを立ち上げ、仲間の生産者の生産物や加工品なども、Webサイトやレストランを含め広く紹介し、川崎市内で一生涯懸命こんな旨いものを作っていること、かわさき育ちをアピールしていきたいと思っています。

園主 杉田 広行

